

越前市【新幹線駅からの二次交通】

(1) 地域課題分野

[] ①交通、 [] ②防災、 [] ③環境、 [] ④健康福祉、 [] ⑤産業、 [] ⑥農林水産、 [] ⑦教育、 [] ⑧行政、 [] ⑨観光・文化、 [] ⑩その他

(2) 課題

- ・北陸新幹線越前たけふ駅から丹南地域の観光拠点等にどう人を運ぶか
- ・物理的に離れている北陸新幹線越前たけふ駅とハピラインふくい武生駅をいかに接続するか
- ・運転手不足の中、いかに効率的な二次交通を整備できるか。また、デジタル技術を活用する場合、利用者（運転手）の心理的障壁や金銭的負担をどう軽減するか。

(3) 現状

- ・越前たけふ駅の利用者は1600人/日～2000人/日を想定
- ・越前たけふ駅と武生駅を接続すると同時に、地域住民の移動利便向上のためのデマンド交通の実証実験をR5年度に実施予定（本市独自 予算額1,350万円）
- ・市内公共交通の再編のための調査、計画策定をR5～R6にかけて実施予定（本市独自 予算額560万円 ※R5年度は0円）
- ・運転手不足の中、効率的にタクシーを運行することで予約を受けられる体制を整えたい。配車予約アプリの導入を考えているが、アプリ等の利用については、機器やシステム使用に際し交通事業者（運転手）の慣れが必要であり、この部分の負担が問題である。また、システム利用の手数料も課題になっている。

(4) ステークホルダー

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
越前市観光誘客課	定額タクシーの運行。
近隣市町（鯖江市、池田町、南越前町、越前町）	市民・町民の越前たけふ駅利用。広域での定額タクシー運行の検討。越前たけふ駅の活用方法の検討
タクシー事業者	越前市内5社、鯖江市内3社、南越前町1社、越前町2社
福井鉄道(株)	路線バスの運行、市民バスの運行

(5) 地域課題解決の糸口

- ・便利で快適かつ持続可能な二次交通に利用可能なデジタル技術（例：交通事業者に負担の少ない配車予約アプリ等）
- ・二次交通の課題解決に資する提案（例：バス・タクシー・鉄道以外の新モビリティサービス及び既存の公共交通機関との連携）
- ・交通再編調査における利用者ODデータの可視化、市民バス運行やデマンド交通実証結果を踏まえた交通シミュレーション、越前市に最適な公共交通体系の提案等

(6) 提供可能な資産・データ

- ・北陸新幹線二次交通需要調査結果
- ・市内タクシー事業者に関するデータ
- ・市民バスの利用者状況データ
- ・交通事業者や地元住民との協議、説明会などの設定、同席等
- ・路線バスの利用状況資料（嶺北地域公共交通計画検討時の資料）

越前市【中山間地域の交通手段の確保】

(1) 地域課題分野

[] ①交通、 [] ②防災、 [] ③環境、 [] ④健康福祉、 [] ⑤産業、 [] ⑥農林水産、 [] ⑦教育、 [] ⑧行政、 [] ⑨観光・文化、 [] ⑩その他

(2) 課題

- ・中山間地域での高齢者や学生の足をどう維持・確保するか
※現状では市民バスを運行しているが、週2日（火・土）で1日2往復、行き先はまちなかまでとなっており、郊外の量販店に行きたいといった要望がある。
また、地元住民のボランティアに頼っている（社会福祉協議会の車両を借りて、地区住民を無償で郊外の量販店やまちなかの病院へ連れて行っている）。

(3) 現状

- ・中山間地域（坂口地区）からまちなかを接続する自家用有償運送の実証実験をR5年度に実施予定 利用者は5～6人/便（本市独自 予算額240万円）
- ・上記の実験と並行して市民バス影響調査（住民アンケート）を実施する予定。
- ・市内公共交通の再編のための調査、計画策定をR5～R6にかけて実施予定（本市独自 予算額560万円 ※R5年度は0円）

(4) ステークホルダー

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
サポートさかぐち	自家用有償運送の運行（ドライバー候補12人）
坂口地区住民	自家用有償運送の利用

(5) 地域課題解決の糸口

- ・越前市の公共交通の改善につながるデジタル技術（例：地域住民主体で行うデマンド交通、新たな交通システムの提案）
- ・今年度取り組み予定の実証実験とアンケートの結果を適切に検証・分析し、地域交通の最適化につなげたいと考えるが、その際、
①実証実験結果とアンケート結果による検証方法や検証結果に基づく分析方法、②分析の結果、市民バスの再編にどう反映させ、地域交通の最適化につなげられるか、について具体的な提案が欲しい。

(6) 提供可能な資産・データ

- ・市民バスの利用者状況データ ・路線バスの利用状況資料（嶺北地域公共交通計画検討時の資料）